

診療報酬適用のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび厚生労働省より平成 19 年 7 月 31 日保医発第 0731001 号により、診療報酬収載の通知がございましたのでご案内申し上げます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

敬 具

2007 年 8 月

◇新規保険収載項目（平成 19 年 8 月 1 日より適用）

検査項目名	実施料	区分	備考
低カルボキシル化オステオカルシン (ucOC)精密測定	170 点	「D008」内分泌学的検査 の 16. (生化学的検査Ⅱ)	実施検討中

検査項目名	実施料	区分	備考
抗GM1 IgG抗体	460 点	「D009」腫瘍マーカーの 16. (免疫学的検査)	実施検討中

検査項目名	実施料	区分	備考
抗GQ1b IgG抗体	460 点	「D009」腫瘍マーカーの 16. (免疫学的検査)	実施検討中

詳細につきましては裏面をご参照下さい。

◇低カルボキシル化オステオカルシン（ucOC）精密測定

- ア 低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)精密測定は、区分「D008」内分泌学的検査の「16」のオステオカルシン精密測定に準じて算定できる。
- イ 低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)精密測定は、骨粗鬆症におけるビタミンK₂剤の治療選択目的で行った場合又は治療経過観察を行った場合に算定できる。
ただし、治療開始前においては1回、その後は6月以内に1回に限り算定できる。

◇抗GM1 IgG抗体

- ア 抗GM1 IgG抗体は、区分「D014」自己抗体検査に準じ、区分「D026」検体検査判断料の「5」の免疫学的検査判断料を算定する。
ただし、検査料については、区分「D009」腫瘍マーカーの「16」のインターロイキン2受容体(IL-2R)精密測定に準じて算定できる。
- イ 抗GM1 IgG抗体は、ELISA法により、進行性筋力低下又は深部腱反射低下等のギラン・バレー症候群が疑われる所見が見られる場合において、診断時に1回に限り算定でき、経過観察時は算定できない。

◇抗GQ1b IgG抗体

- ア 抗GQ1b IgG抗体は、区分「D014」自己抗体検査に準じ、区分「D026」検体検査判断料の「5」の免疫学的検査判断料を算定する。
ただし、検査料については、区分「D009」腫瘍マーカーの「16」のインターロイキン2受容体(IL-2R)精密測定に準じて算定できる。
- イ 抗GQ1b IgG抗体は、ELISA法により、眼筋麻痺又は小脳性運動失調等のフィッシャー症候群が疑われる場合において、診断時に1回に限り算定でき、経過観察時は算定できない。